



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 棚柱が転倒、脱落するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定の位置に厚さ30mm×105mm以上の下地材を必ず取付けてください。(柱・間柱に固定する場合は不要です。)
 - ・下地材には虫食い、くされなどのない物を使用してください。
 - ・下地材は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。
 - ・リフォームなどの場合で、下地材が石こうボードなどで確認できない場合は、石こうボードをはがして柱の位置を確認してください。
- 専用の棚、部品以外は使用しないでください。
- 必ず指定の位置で固定してください。
- 取付け中、仮置きとして重いものを載せないでください。
- 棚柱の固定ピッチは910mm以内で納めてください。
- 樹脂棚板と鉄芯を切断後、必ず所定の位置に鉄芯を挿入してください。樹脂棚板が脱落するおそれがあります。

■取付け上のお願い

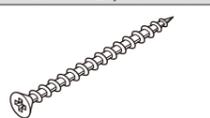
- 収納の荷重が壁面へかかることを考慮し、下地の補強をしてください。(樹脂棚板の耐荷重は8.5kg/枚、木製棚板の耐荷重は10kg/枚、パイプの耐荷重は17kg/本です。)
- 下地材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 湿気がこもる外壁裏への設置、多湿の個所への設置、コンクリートやモルタルへの設置はしないでください。基材のソリ・ねじれ・腐食の原因となります。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(取付け後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 棚柱を壁面に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。棚柱の取付け位置がズれていると、棚板がガタツク場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用しますと、部品・部材の脱落や垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 熱を発するもの(家庭用電化製品など)は収納付近に取付けたり、収納内部に入れたりしないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを棚柱やブラケットに張らないでください。はがす際に、表面の塗装がはがれるおそれがあります。

■クリーニング時のお願い

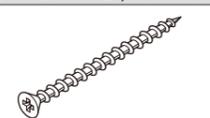
- ホコリやゴミは乾いたきれいな布で払い落してください。ひどい汚れ、又は落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めてかたく絞ったぞうきんで拭き取ってください。汚れがひどい場合でも、溶剤(シンナー、ベンジン)やクレンザーなどは使用しないでください。

■部材・部品一覧表

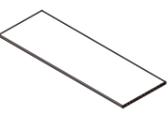
●棚柱端部用セット

名称	棚柱(端部用)	皿タッピンねじφ3.3×50	棚柱(端部用)上下キャップ
名称			
数量	L=1820: 2 L=900: 2	24 16	4 4

●棚柱中央用セット

名称	棚柱(中央用)	皿タッピンねじφ3.3×50	棚柱(中央用)上下キャップ
名称			
数量	L=1820: 1 L=900: 1	12 8	2 2

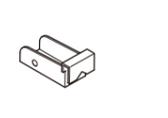
●樹脂棚板セットW900

名称	棚板 L=904	鉄芯 L=904
名称		
数量	1枚入: 1 5枚入: 5	1 5

●木製棚板セット

名称	棚板	棚板寸法
名称		140×603 140×913 260×603 260×913
数量	1枚入: 1 3枚入: 3	

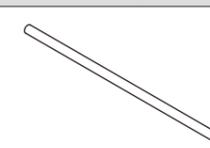
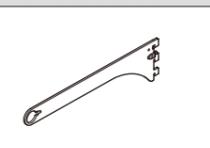
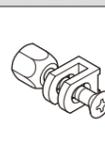
●樹脂棚板用ブラケットセット

名称	樹脂棚板用ブラケット	棚板固定金具
名称		
数量	1セット入: 2 5セット入: 10	4 20

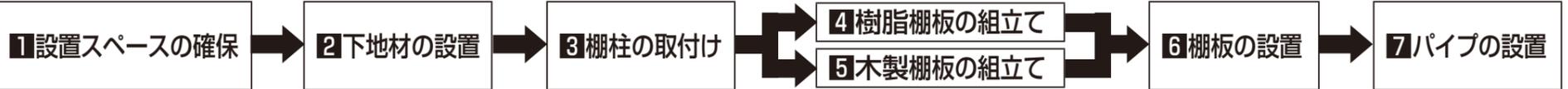
●木製棚板用ブラケットセット

名称	木製棚板用ブラケット	固定ねじ
名称		
数量	1セット入: 左右各1 3セット入: 左右各3	4 12

●パイプセット(D100・D270)

名称	パイプ	パイプブラケット	パイプ固定金具	パイプ用エンドキャップ
名称				
数量	1	2	2	2

■取付けの流れ



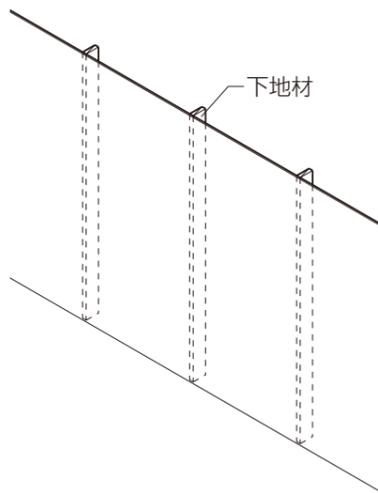
■取付け順序

1 設置スペースの確保

- 収納の内部に納める場合は、設置スペースを作ってください。
- 扉のある収納内部にすっきり棚を納める場合は、あらかじめ棚板、パイプが納まる寸法(ハンガーが納まることを想定した)を考慮した上で設置スペースを確保してください。

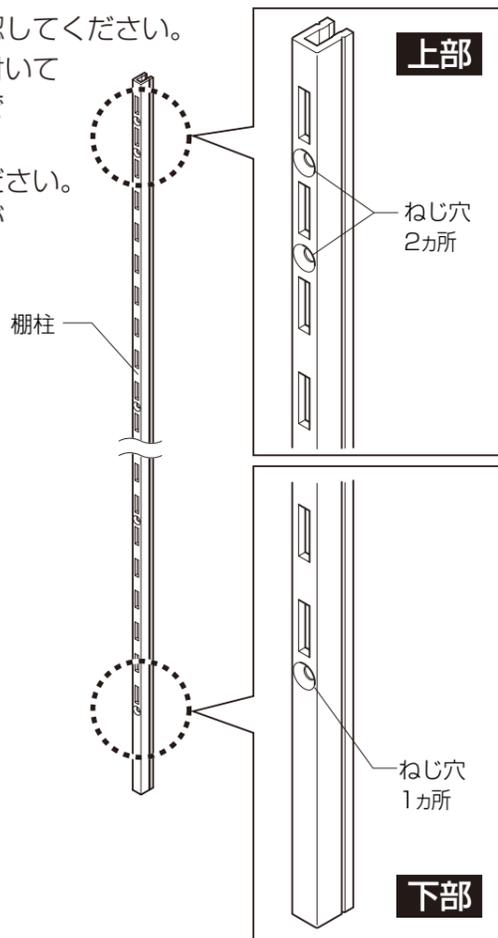
2 下地材の設置

- 据付け場所を確認し、所定の壁面(躯体)に下地材を設置します。(躯体に直接、棚柱を固定する場合は下地材は不要です。)



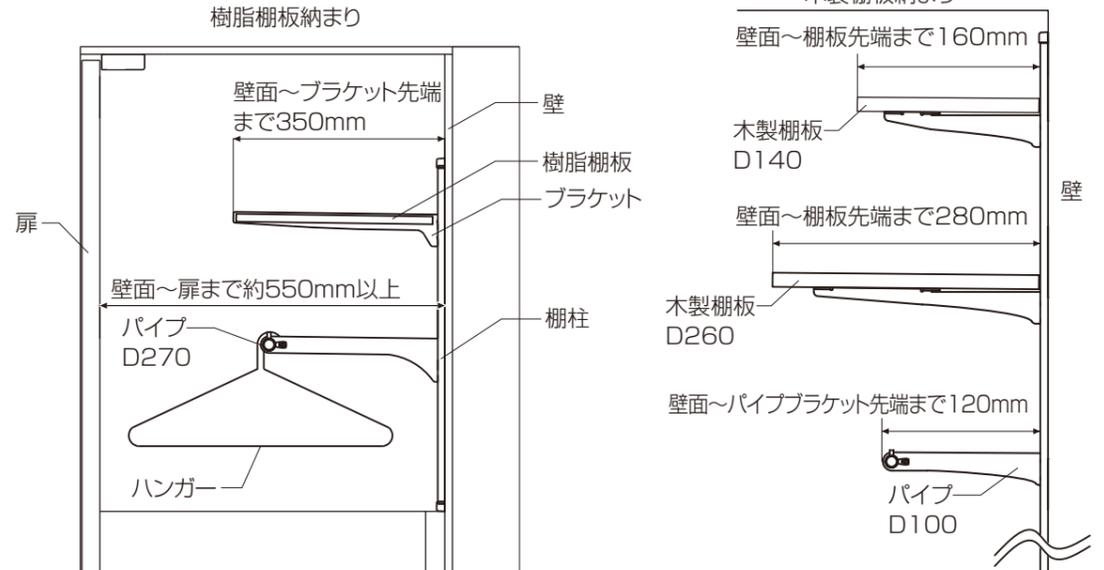
3 棚柱の取付け

- 棚柱の上下を確認してください。
- 棚柱が垂直に取付いているかを水準器で確認しながら、壁に固定してください。
- 棚柱にガタツキがないことを確認してください。



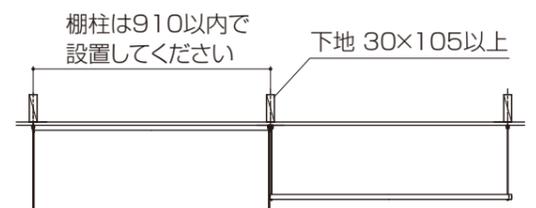
■取付け詳細

1 設置スペースの確保



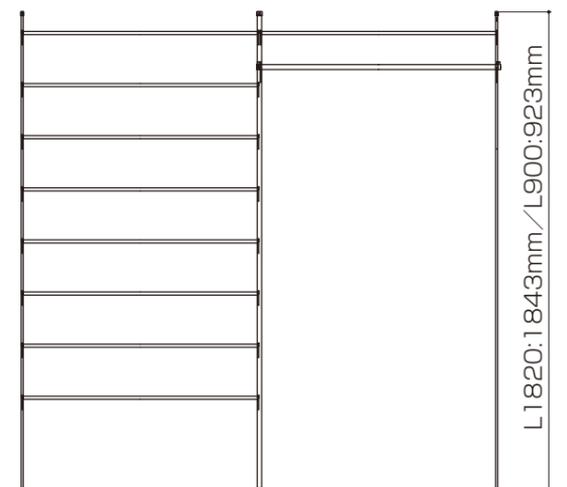
2 下地材の設置

- 棚柱芯寸法は910mm以内となりますので、これを考慮して下地材を設置してください。



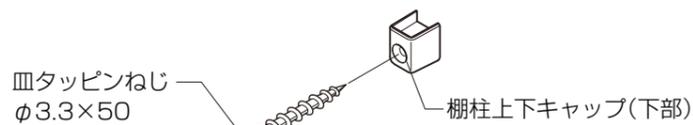
▲ 注意

- 指定の位置に厚さ 30mm × 105mm 以上の下地材を、必ず取付けてください。(柱・間柱に固定する場合は不要です。)
- 棚柱の固定ピッチは 910mm 以内で納めてください。

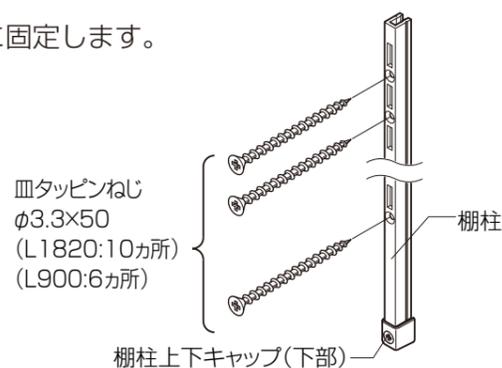


3 棚柱の取付け

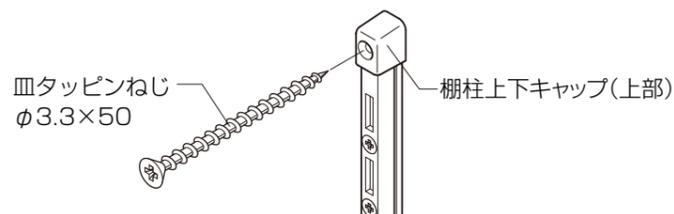
- ① 棚柱上下キャップ(下部)を壁に固定します。



- ② 棚柱を壁に固定します。



- ③ 棚柱上下キャップ(上部)を壁に固定します。



■取付け順序

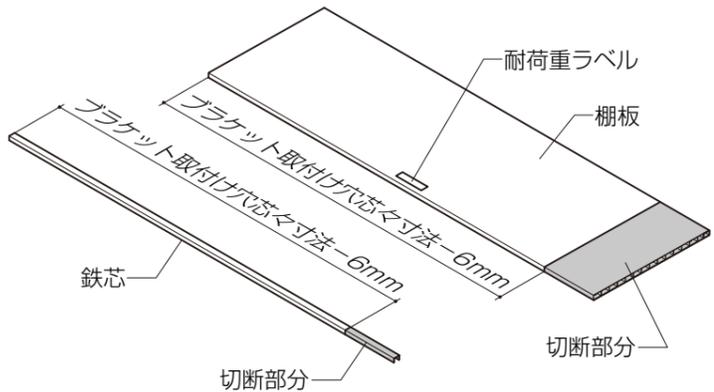
4 樹脂棚板の組立て(以下4の棚板とは樹脂棚板を示します)

※必ず、以下の流れに沿って棚板用ブラケットを取付けてください。順番を誤ると受け金具が曲がったり、棚板が組立たなくなる可能性があります。

1 棚板、鉄芯の切断

●棚板、鉄芯を切断します。

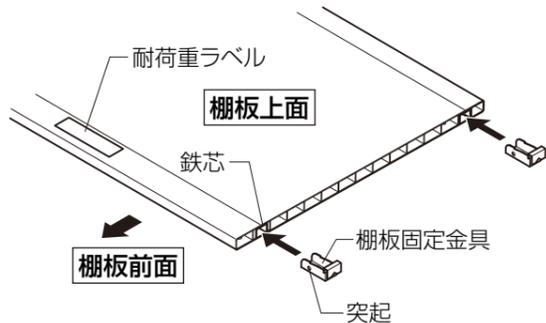
※鉄芯をカットした際にバリが発生した場合は、ヤスリなどで削ってバリをなくしてください。



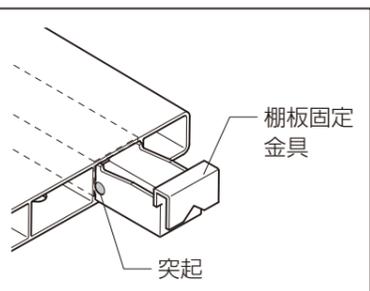
※耐荷重ラベルは棚板のW幅の中心に張付けてあります。棚板をカットする際は、すべての棚板を同じ方向からカットし、ラベルの張付け位置をあわせてください。

2 棚板固定金具の仮固定

①棚板に鉄芯をを挿入し棚板固定金具を差込み仮固定します。

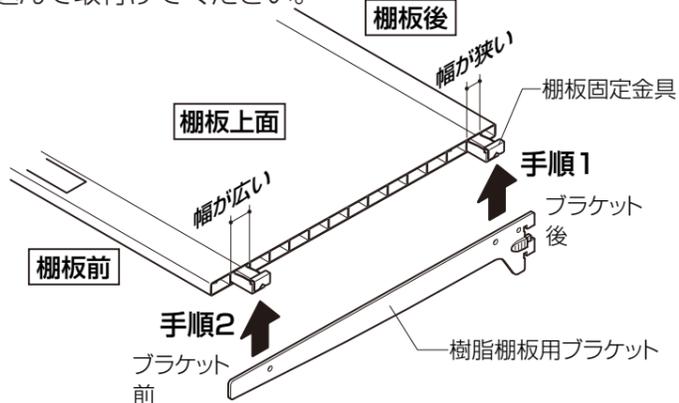


※棚板固定金具を差込む際は、突起の手前で止めてください。(ブラケットを取付けてから、突起部を差込みます。)

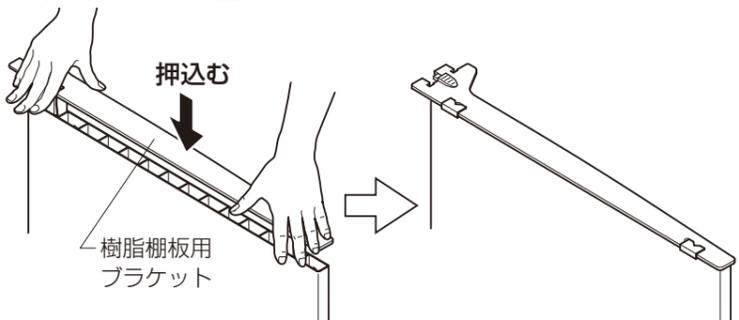


3 樹脂棚板用ブラケットの取付け

①樹脂棚板用ブラケットを後→前の順番で棚板固定金具に差込んで取付けてください。



②棚板を立て、樹脂棚板用ブラケット全体を上から両手で押し、鉄芯に棚板固定金具を最後まで挿入して樹脂棚板用ブラケットを固定します。



※片側が終わったら、反対側も同じように取付けてください。(2~3を繰り返す)

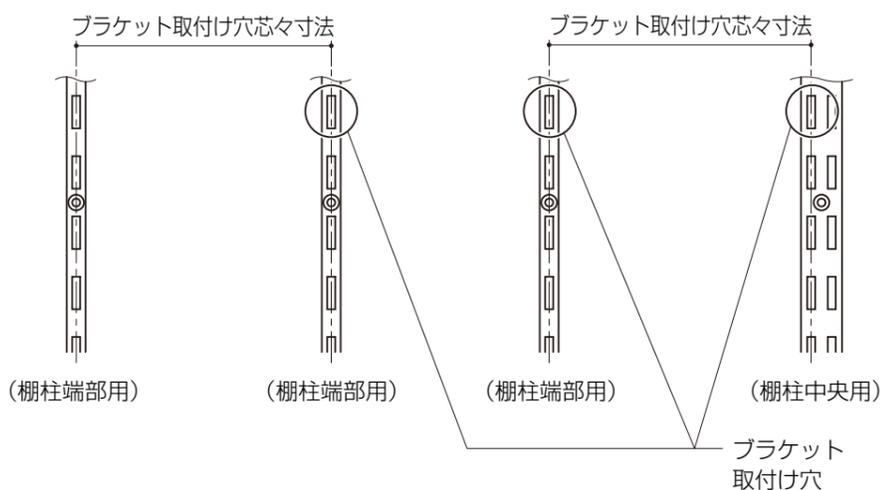
■取付け詳細

4 樹脂棚板の組立て(以下4の棚板とは樹脂棚板を示します)

1 棚板、鉄芯の切断

■棚板、鉄芯の切断寸法について

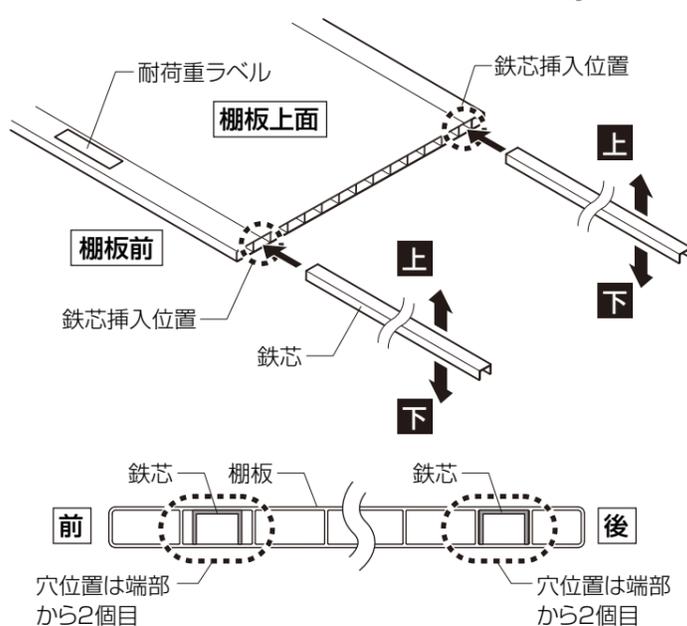
●棚板・鉄芯切断寸法=ブラケット取付け穴芯々寸法-6mm



※ブラケット取付け穴芯々寸法が910mmの場合は、棚板・鉄芯のWカットは不要となります。

2 棚板固定金具の仮固定

●棚板の前後、上下を確認しながら、鉄芯を○の位置に図の向きで挿入します。

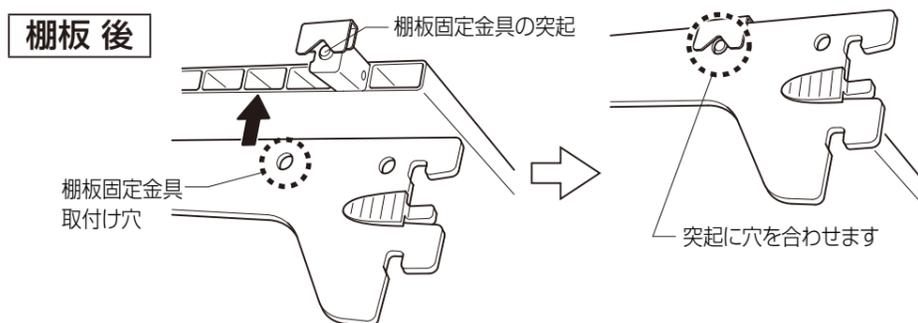


▲注意

●樹脂棚板と鉄芯を切断後、必ず所定の位置に鉄芯を挿入してください。樹脂棚板が脱落するおそれがあります。

■(手順1) 樹脂棚板用ブラケットの取付け詳細

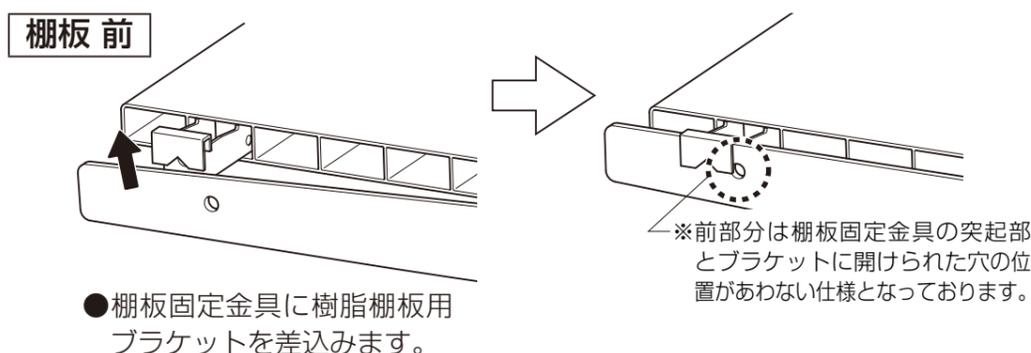
まずは棚板の後ろ部分から固定してください。



●棚板固定金具の突起部に棚板固定金具取付け穴を合わせて樹脂棚板用ブラケットを差込みます。

■(手順2) 樹脂棚板用ブラケットの取付け詳細

次に棚板の前部分を固定してください。

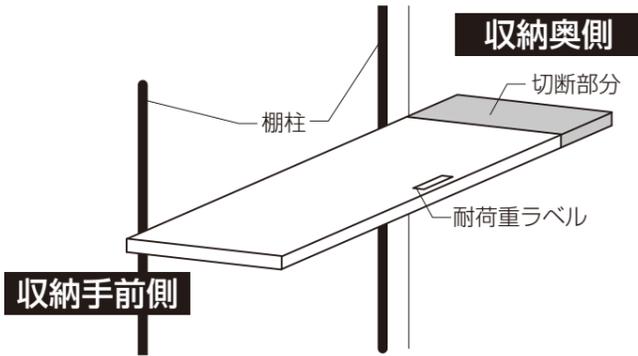


■取付け順序

5 木製棚板の組立て(以下6の棚板とは木製棚板を示します)

1 棚板の切断

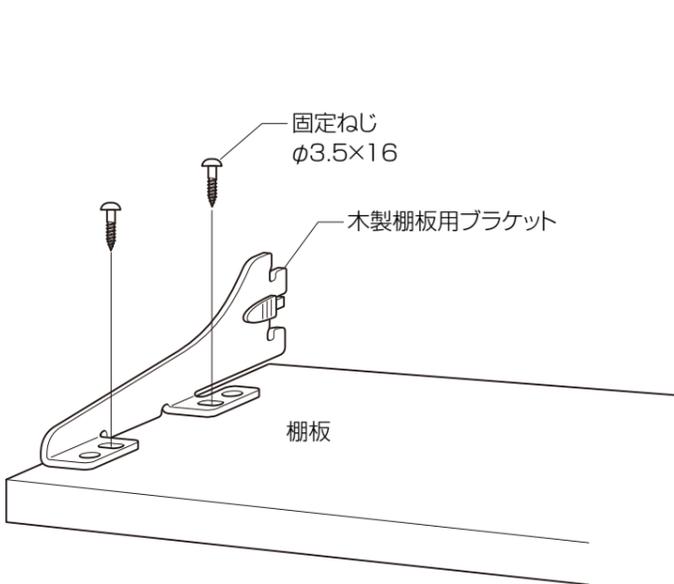
- 必要に応じて棚板を切断します。
- ※棚板奥行寸法はD140で～35mm、D260で～55mmまで切断可能です
- ※棚板を側面使いする場合で棚板W寸法を切断する場合は必ず収納奥側になる側を切断してください。



- ※耐荷重ラベルは棚板のW幅の中心に張付けてあります。棚板をカットする際は、すべての棚板を同じ方向からカットし、ラベルの張付け位置をあわせてください。

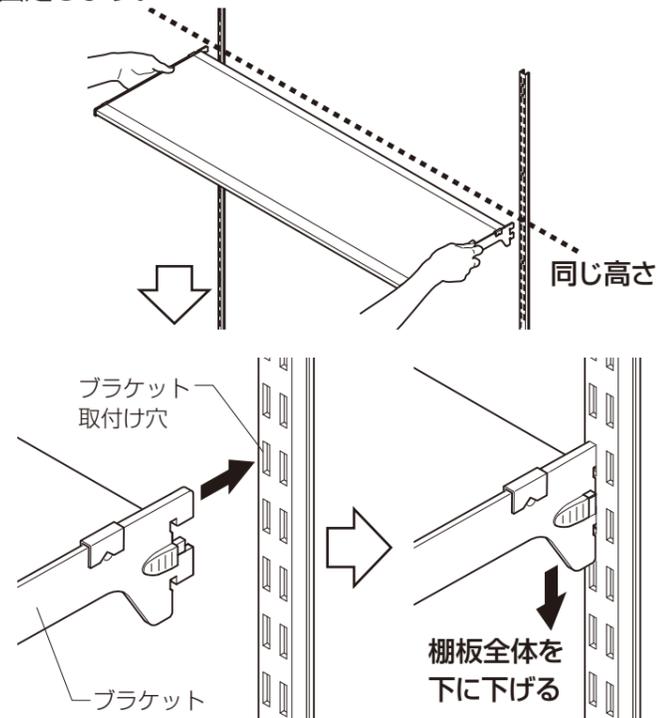
2 棚板の固定

- 棚板に下穴を開け、棚板とブラケットを固定します。



6 棚板の設置(樹脂棚板・木製棚板共通)

棚柱のブラケット取付け穴に両端のブラケットを差込んで固定します。



※図は樹脂棚板の例です

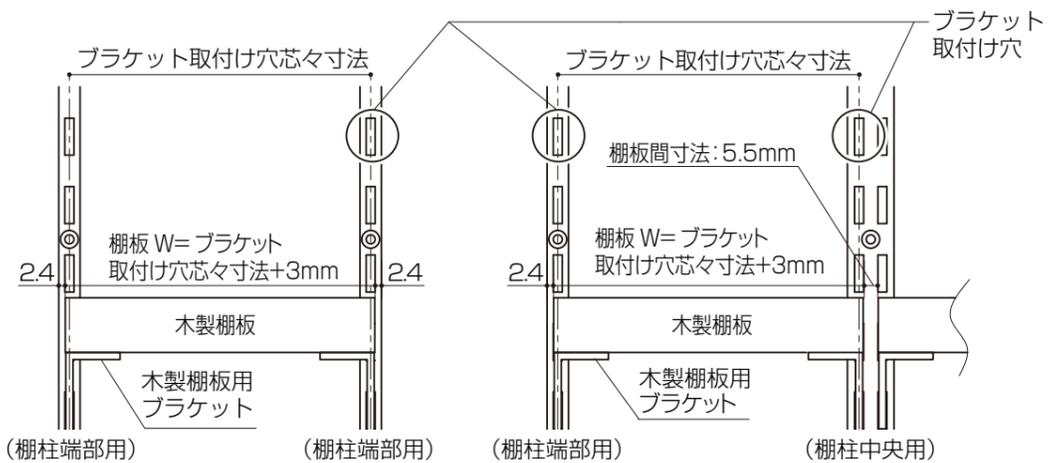
■取付け詳細

5 木製棚板の組立て(以下6の棚板とは木製棚板を示します)

1 棚板の切断

■棚板の切断寸法と棚板・ブラケット納まりについて

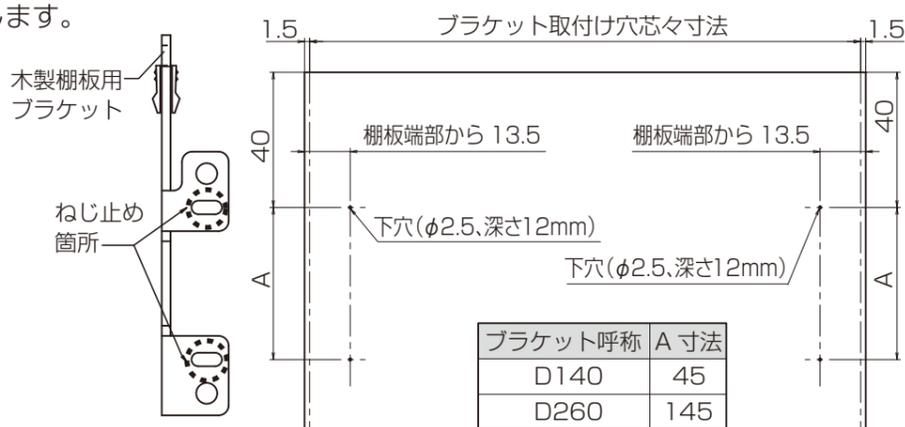
- 棚板とブラケットの納まりは下図のようになっています



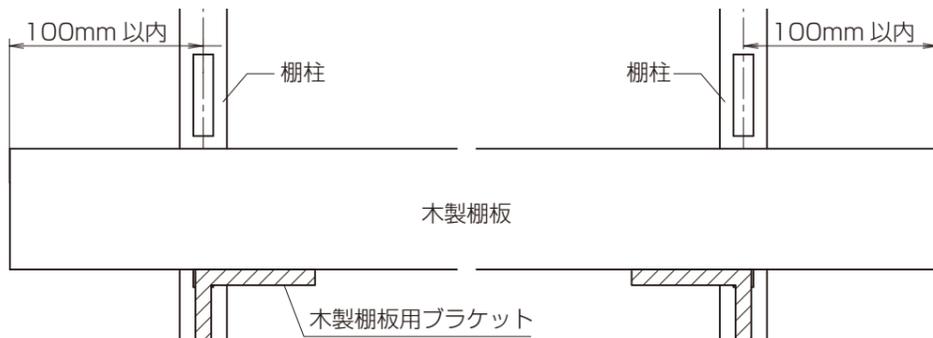
- ※ブラケット取付け穴芯々寸法が600mm・910mmの場合は、棚板のWカットは不要となります。

2 棚板の固定

- 棚板に下穴(φ2.5、深さ12mm)を開け、付属のねじ(φ3.5×16)でブラケットを固定します。



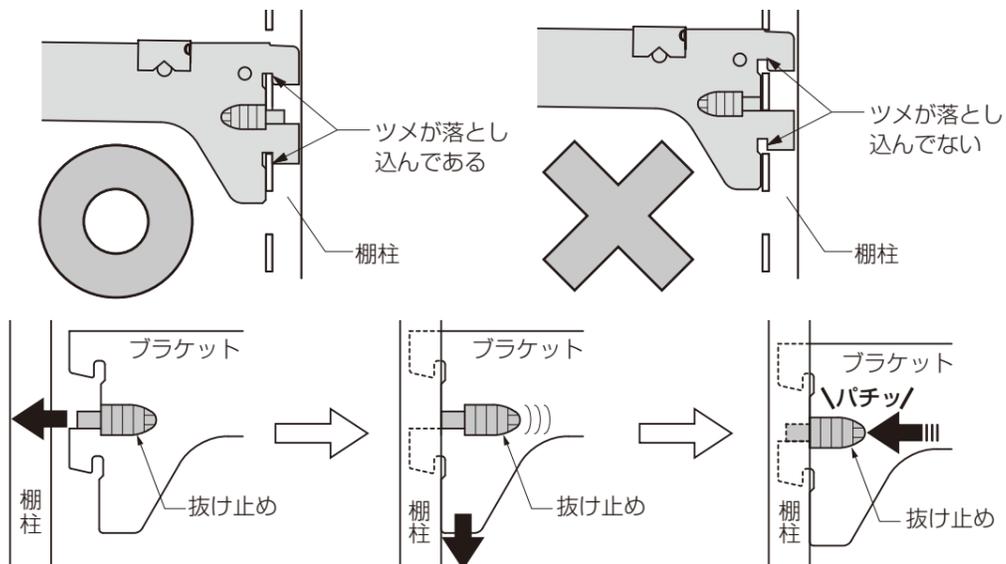
- ※1の標準の納まりの場合の下穴位置です。棚板両端をブラケットからはみ出させる場合は100mm以内の範囲で調整してください。



6 棚板の設置(樹脂棚板・木製棚板共通)

●【棚柱にブラケットを固定するときのお願い】

- ※必ず、両端のブラケットが同じ高さになるように設置してください。
- ※棚柱のブラケット取付け穴にブラケットのツメを落とし込んでください。ツメを落とし込むと自動で抜け止めのロックがかかります。抜け止めが「パチッ」と棚柱のブラケット取付け穴に確実にハマり、ブラケットが棚柱から外れないことを確認してください。

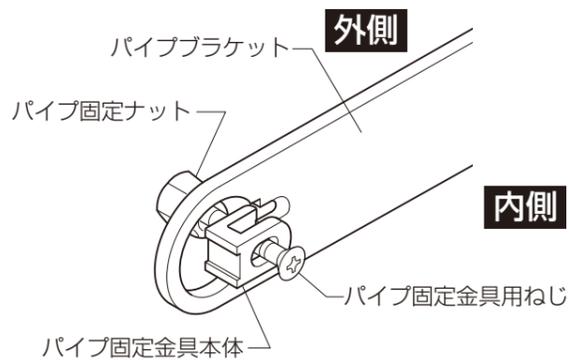


- ※ブラケットを取付けた後、ブラケットが抜けないことを確認してください。取外す際は抜け止めを手前にスライドさせたままブラケットを棚柱から取外してください。

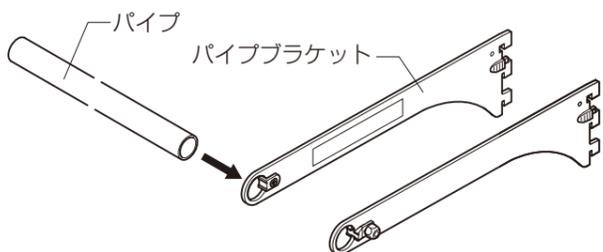
■取付け順序

⑦パイプの設置

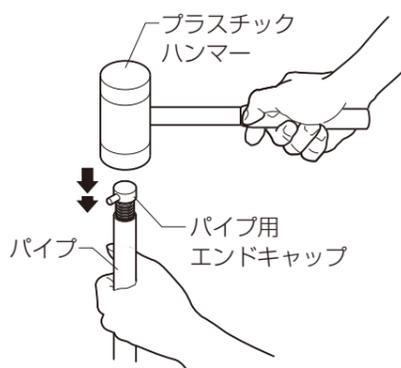
①固定金具用ねじをゆるめて、パイプブラケットに固定金具を仮固定します。



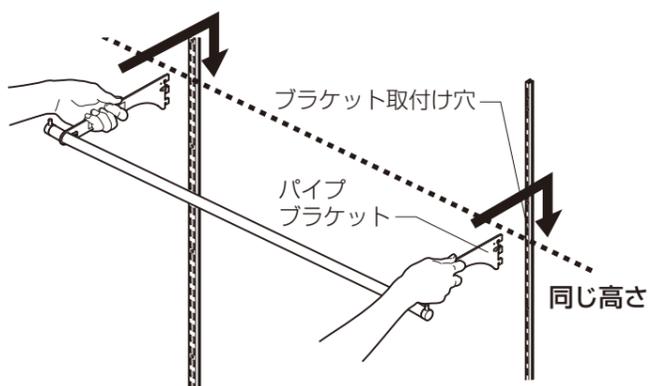
②パイプブラケットにパイプを挿入します。



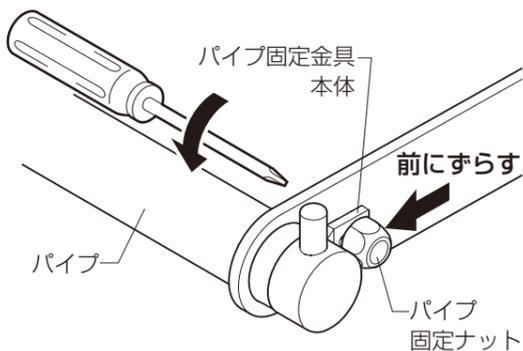
③パイプの両端部に、パイプ用エンドキャップを取付けます。



④棚柱のブラケット取付け穴に両側のパイプブラケットを差込んで固定します。



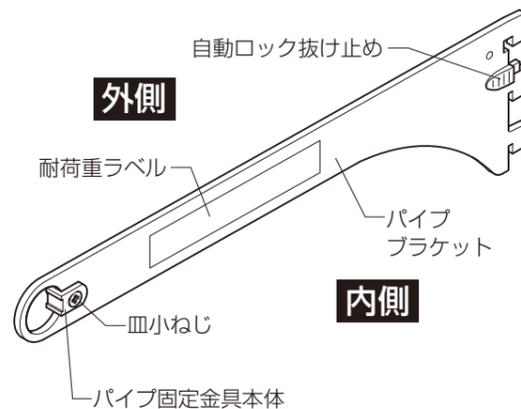
⑤パイプの位置(左右)を決めたら、パイプ固定金具を手前にずらしパイプに押しあて、パイプ固定ナットを手で押さえながら、ドライバーでねじを締めてパイプを固定します。
※パイプ固定金具でパイプを固定した後、パイプが動かないことを確認してください。



■取付け詳細

⑦パイプの設置

●パイプブラケット(1本)には耐荷重ラベルが張付けてあります。ラベルが内側にくるように、パイプ固定金具を仮固定してください。



---【パイプを切断する場合のお願い】---

※パイプを切断する場合は、必ずパイプの切断面のバリを取除いてください。バリが残っていると、パイプ用エンドキャップが取付かない場合があります。又、パイプの切断は、パイプ用エンドキャップを取付ける前に行ってください。

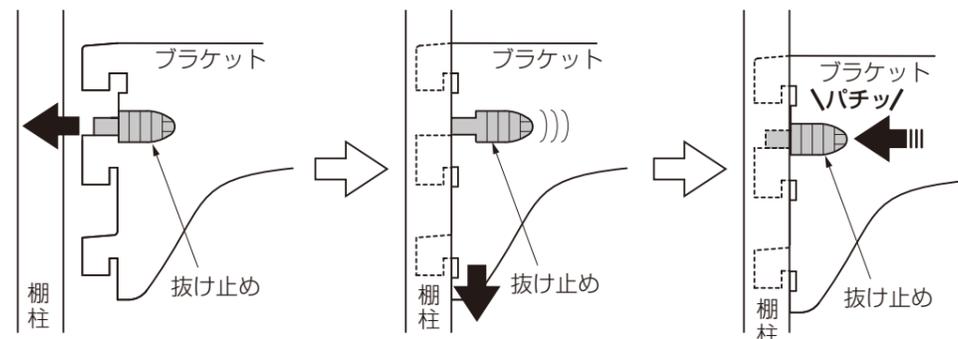
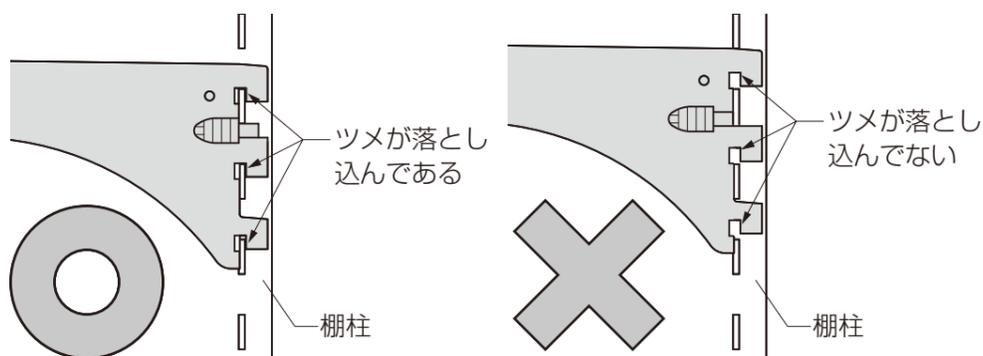


---【パイプの先端にパイプ用エンドキャップを取付ける場合のお願い】---

※パイプの先端にパイプ用エンドキャップを取付ける際、強く叩き込むとキャップが割れるおそれがあります。軽い力で数回に分けて、たたき込んでください。

---【棚柱にパイプブラケットを固定するときのお願い】---

※必ず、両側のパイプブラケットが同じ高さになるように設置してください。
※棚柱のブラケット取付け穴にパイプブラケットのツメを落とし込んでください。ツメを落とし込むと自動で抜け止めのロックがかかります。抜け止めが「パチッ」と棚柱のブラケット取付け穴に確実にハマり、パイプブラケットが棚柱から外れないことを確認してください。

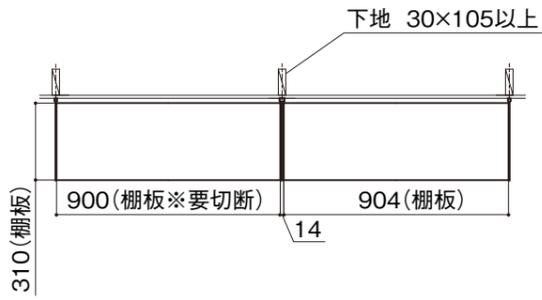


※ブラケットを取付けた後、ブラケットが抜けないことを確認してください。取外す際は抜け止めを手前にスライドさせたままブラケットを棚柱から取外してください。

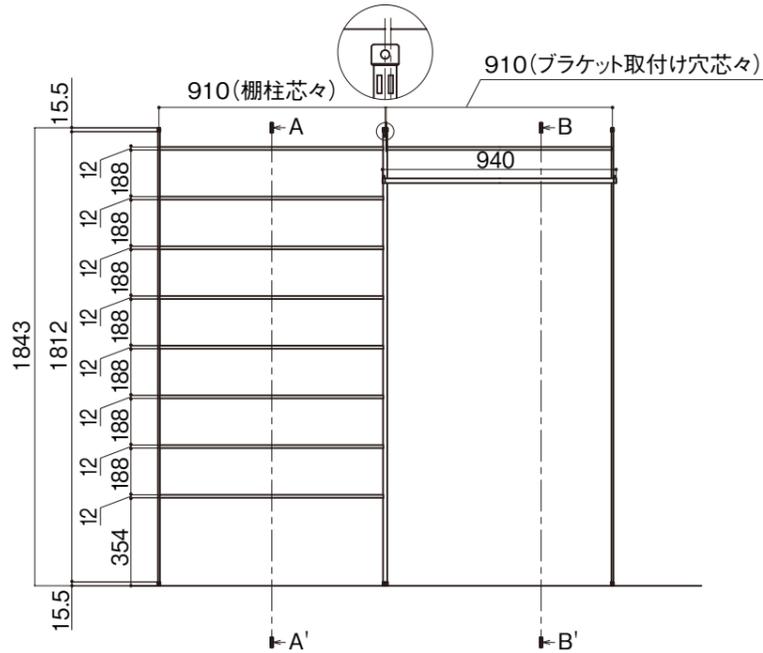
■納まり図

■幅6尺(樹脂棚板・パイプ納まり)

●上面図

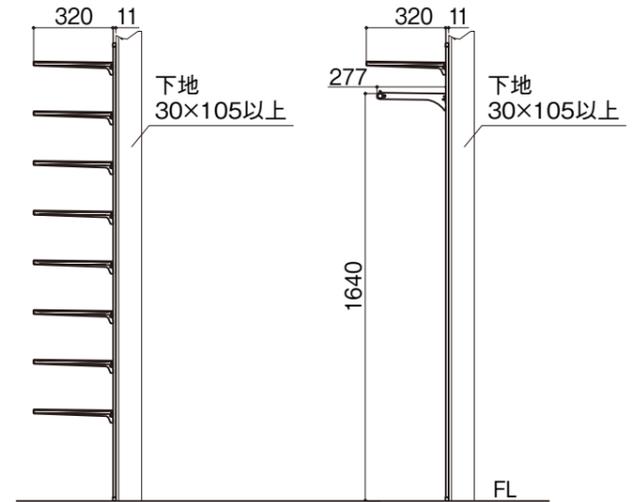


●正面図



●縦断面図(A-A')

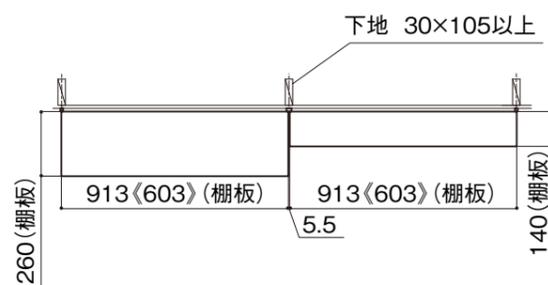
●縦断面図(B-B')



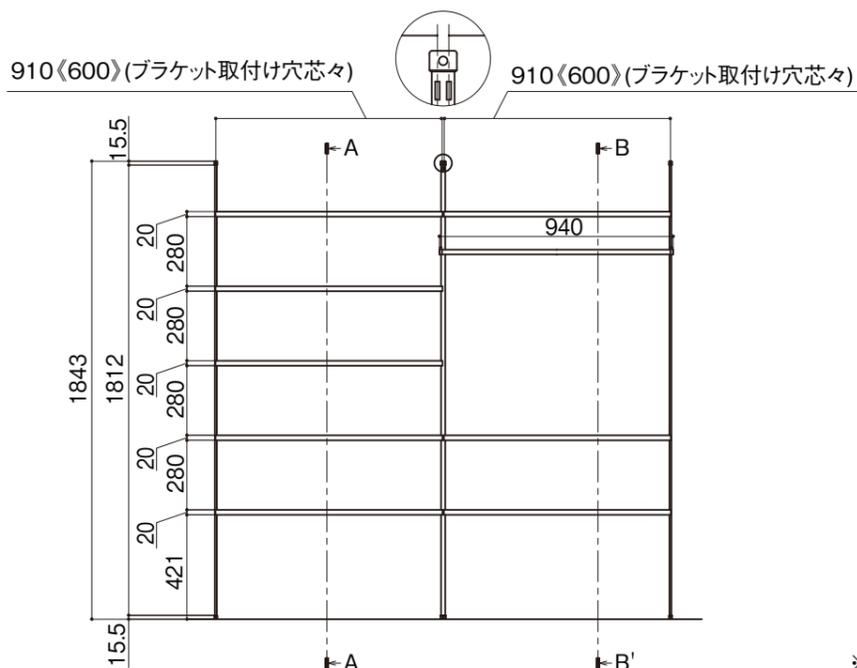
- ※1. 棚板・パイプの高さは任意の位置に取付け可能です。(取付けピッチは25mmとなります。)
- ※2. 棚板・パイプは現場の納まりに合わせてカットして納めてください。
- ※3. 扉のある収納内部に納める場合は、パイプにハンガーを掛ける事を考慮し、扉の裏面から550mm以上の奥行きを確保してください。
- ※4. パイプの幅方向の設置位置は、棚柱の位置に合わせてパイプを移動させ調整した上で、パイプ固定金具で固定してください。

■幅6尺(木製棚板・パイプ納まり)

●上面図

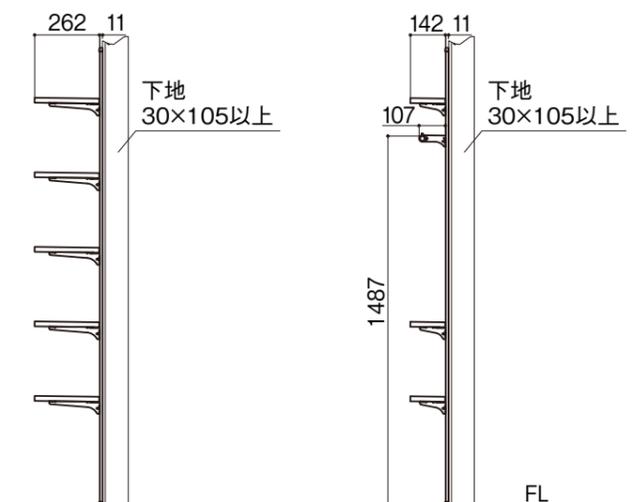


●正面図



●縦断面図(A-A')

●縦断面図(B-B')



- ※1. 棚板・パイプの高さは任意の位置に取付け可能です。(取付けピッチは25mmとなります。)
- ※2. 棚板・パイプは現場の納まりに合わせてカットして納めてください。
- ※3. パイプの幅方向の設置位置は、棚柱の位置に合わせてパイプを移動させ調整した上で、パイプ固定金具で固定してください。